

あさpoke次号は3月14日(日)の発行です。

3月6・7日

『東林文化祭』に行こう！

東林公民館創立35周年、作品展示や舞台発表

東林地区の文化と芸術の祭典『東林文化祭』が3月6日(出)9時50分～15時、7日(日)10時～16時、2日間にわたって東林公民館で開催される。



昨年の文化祭。写真上＝舞台発表の部、下＝作品展示の部

同文化祭は公民館や東林地区内で活動しているサークルや団体が、作品展示や舞台発表などで日頃の成果を発表するとともに、サークル同士や地域住民同士の交流の場にもなっている。

作品展示は両日、俳句、短歌、書道、絵画、手工芸、生花など。発表の部は日替わりで、音楽、体操、ダンス、舞踊など。また、喫茶コーナーやお茶会もある。発表の部の予定は次の通り。

- 【3月6日(出)】
- ▼9時50分～とうりん鼓笛隊
- 10時00分～四季の会・若さの会(体操)
- ▼11時10分～ピカケ(フランドル)
- ▼11時50分～レクダンス・スマイル
- ▼12時30分～相模三曲の会(箏曲)
- ▼13時～沖繩三線東林間俱樂部
- ▼14時～めだかの学校(模擬授業)
- 【3月7日(日)】
- ▼10時～メイト花音(琴)
- ▼10時30分～桃花村塾(詩吟)
- ▼11時～琴望会(大正琴)
- ▼11時30分～手話サークル みちの会
- ▼12時15分～ハーモニカクラブひまわり
- ▼13時～16時 染洋会・洋美代会・瑛扇会・いつわ会・好美会・壹泉会・潤紀会・東林芸能同好会・華の会(舞踊)
- 「お気軽にご来場ください！」。問い合わせは、東林公民館 ☎ 042(744)0087。

ふれ伝言板

◆鈴木達幸 新風・竹人形展
開催中～2月28日(月)10時～19時、相模が丘1丁目17-47日高インテリアビル2階「ギャラリー・サンフラワー」で。竹の特性を生かしたオリジナル創作竹人形など約50作品を展示。入場自由。問合せ ☎ 同ギャラリー ☎ 042(701)3565。

◆役立つ「お葬式セミナー」
2月27日(日)14時～16時、大和市深見西1-3-17の大和市生涯学習センター308会議室で。NPO法人全国葬送支援協議会主催のお葬式に関する正しい情報や最新情報を提供するセミナー。テーマは「家族葬ってどんなお葬式?」参加無料、定員40名。申込み・問合せ ☎ 同協議会(ふじみ式典内) ☎ 0120(64)7764。

◆八百屋さん体験
3月6日(日)9時～正午、東林公民館で。有頂天になった話をしました。ポイントはこの話です。本来なら客は親のほうですが、八百屋さんが接客して当然です。しかし、その親は「今日は私がお客ではないから、この子に接客をしてやってほしい」と言いました。実はここがすばらしい。なぜなら、親の言葉は子どもの自尊心を刺激し、店員の子どもの自尊心を刺激し、店員の子どもの自尊心を満したことになるからです。平たく言えば、「子ども扱いをしなかった」といえます。子どもの立場からすれば、大人が「自分の顔を立ててくれた」となるのです。その結果、その子は十分に満足したのです。そして、それがその子の自覚を高め、おねしょを止める力になっていったというわけです。これを使わない手はありません。もし、自主的に勉強させたいと考えたら、子どもの自尊心を刺激するポイントを考えてみてはいかがでしょうか。



自主防災隊の活動を紹介する江沢さん

の『二日前プロジェクト』を紹介。同プロジェクトは、阪神淡路大震災や新潟中越地震などの被災者に話を聞き、そこから導き出せる教訓や体験談を物語にまとめる活動。「もし一日前に戻れたら：」どんな行動をし、何を準備すればいいかなど、貴重な情報源になっていると説明した。

後半は防災・減災への各団体の取り組みを紹介。さまざまだアネットワーク副代表の濱田政宏さん、翠ヶ丘自治会自主防災隊4区隊長の江沢一郎さんが、壇上で発表を行った。

翠ヶ丘自治会の江沢さんは、自主防災隊の組織や活動、防災訓練の様子をスライドなどで分かりやすく説明。「より実用的な訓練の積み重ねや住民同士の日頃のコミュニケーションが必要」と話し、同自治会では、子供から大人まで楽しく参加できるイベントを定期的に開催しており、色々な面で役立っていると述べた。

「賢い子」に育つためのヒントー親子講座 第12回 人を育てる基本

子育て講演や企業研修で必ず課題に出すテーマがあります。それは、『人は何を求めて生きるのか?』です。この課題を10分そこで考えてもらおうのですが、だから自由に考えていただくのではなく、現実10分そこで考えられる問題ではありません。おどろく一生かけて考えていく問題でしょう。しかし私はその限られた時間の中で皆さんに考えていただくのです。もちろん「正解」はありません。だから自由に考えていただくのですが、皆さんは「何を考えよう?」という問いかけをしたいと思います。一つ「答え」を皆さんに提案していません。それは、「私たちは人よりも優れている」という問いかけを「優越性の欲求」といいます。逆に言えば「人より劣っている」という問いかけを「劣性の欲求」といいます。逆を言えば「人より劣っていない」といいます。これは、「人がよく見えない」「人が大事に扱ってほしい」「人が愛してくれない」「人がよく思っていない」という怖さがあるからです。これを一言で「自己尊重感の不安」と言います。換言すれば、人はみな意識するしなにかかわらず、この「自己尊重感」を求めて生きていくともいえるのです。前回、おねしょの子がデパートに行くと、店員さんからあいさつをされて

—— 椋木修三 ——

それは、人より劣っていると、「人が認めてくれない」「人がよく見えない」「人が大事に扱ってほしい」「人が愛してくれない」「人がよく思っていない」という怖さがあるからです。これを一言で「自己尊重感の不安」と言います。換言すれば、人はみな意識するしなにかかわらず、この「自己尊重感」を求めて生きていくともいえるのです。前回、おねしょの子がデパートに行くと、店員さんからあいさつをされて

ドラえもんを探せ

朝日新聞の朝刊1面に、元旦から『しつもん! ドラえもん』というミニコラムの連載が始まった。子供向けの教養欄で、原則毎日連載。1面に質問が掲載され、中面のいずれかのページに答えが掲載されている。答えが掲載されるページは毎日変わる。新聞をペラペラとめくって探そう楽しみもある。質問内容は「動物編」「戦国時代編」「乗り物編」など、2週間単位でテーマが変わり、今後は「言葉遣い編」などを予定。子供向けだが、大人でも頭をひねる問題もあり、家族で考えたり、雑学として覚えておきたい内容もある。さあ、ページをめくって答えを探そう! 答えの場所は神出鬼没。



身長約10センチのドラえもん貯金箱。ポーズは2種類ありますが、選べません

「しつもん! ドラえもん」の連載を記念して、抽選で10名様にドラえもん貯金箱(写真)をプレゼント。希望者はハガキまたはEメールで、あさのポケット編集室「ドラえもん係」まで。住所・氏名・年齢・職業(学年)・本紙に対するご意見、ご感想等明記。締切りは2月24日必着分まで。【応募先】〒228-0813 松が枝町7-4 asapoke@mtg.biglobe.ne.jp

しつもん! ドラえもん 2 どうぶつ編
おせち料理のカズノコ、おいしかった。タラコはタラの弱だよね。カズノコはなんの卵かな。
新聞をひらいてこたえをさがしにいこう

朝日新聞の朝刊に毎日連載されるミニコラム。問題もあり、家族で考えたり、雑学として覚えておきたい内容もある。さあ、ページをめくって答えを探そう! 答えの場所は神出鬼没。

民館玄関前で。東林文化祭の初日、新鮮野菜の店とうりん屋がオープンします。お店体験をしたい小学生を募集。対象は東林地区在学の小学生(小3以下は保護者同伴)、先着20名。指導は「さとちゃん」店主の佐藤昇さんです。エプロン、三角巾持参。受付は2月20日～28日。申込み ☎ 東林公民館 ☎ 042(744)0087。

北文キッズよさこい参加者募集
4月4日の相模が丘よさこい祭り、よさこい鳴子踊りを踊る子供を募集。対象は座間市在住の小学生以上で、5回以上練習に参加できる方。練習は3月13日～全7回、

少年サッカー 審判のコツがわかる本

深掘中央公園やぐみぎ台小、上鶴間小で活動するパッセサッカークラブ監督、濱口和明さん監修の「審判のコツがわかる本」が、メイツ出版から刊行され、話題になっている。濱口さんは、Jリーグ東京ヴェルディの前身「読売サッカークラブ」で選手として活躍した後、チームでトップ、ユース、ジュニアのコーチを歴任。日本サッカー協会公認S級コーチ資格者として少年サッカーの指導を行うほか、審判インストラクターとして後進の育成にも尽力している。同書は「キックオフまでの準備」「主審の役割」「副審&第4の審判員の役割」の3章からなり、実践に役立つノウハウや注意点を写真や図で丁寧に解説している。これから審判に挑戦する人、審判を上手にやりたい人は、ぜひ読んでおきたい一冊。定価1575円(税込)。注文は最寄りの書店、またはメイツ出版 ☎ 03(527)3052。



朝日新聞とASAは、ベルマーク運動を応援しています。ASAは読者の集めたベルマークを近隣の学校に届けています。ベルマークを集めたら、ASAのフキ ☎ 042(744)0087まで11報ください。